

❄️❄️❄️❄️❄️ 図書館へいこう! ❄️❄️❄️❄️❄️

話題の新着本

『一九六―東京ハウス』

真梨 幸子 / 著

「60年前の団地生活を体験して500万円」という企画につられてリアリティショーに集まった2つの家族と番組制作者たち。次々と起こる事件は虚構か、現実か。



『世界的美しさを思い知れ』

額賀 滯 / 著

遺書もなく自殺した双子の弟の携帯。同じ顔を持つ兄が顔認証を突破すると、礼文島行きの航空券を見つけた。そこに弟の「死」の答えはあるのか。「喪失と再生」の物語。



『ひとりでカラカサさしてゆく』

江國 香織 / 著

大晦日の夜、ホテルに集まった80歳過ぎの3人の男女。酒を飲み、共に過ごした過去を懐かしみ、そして一緒に命を絶った。残された者たちの日常を通して浮かびあがるのは…。



『もう別れてもいいですか』

垣谷 美雨 / 著

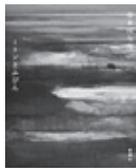
一緒にいるだけで息がちゃんと吸えなくなる。離婚したい。でも、お金がない。女を奴隷扱いする男たちとの決別を描く、50代ベテラン主婦のハッピー離婚戦線。



『ミトンとふびん』

吉本 ばなな / 著

たいせつなひとの死、癒えることのない喪失を抱えて生きていく。今日もまわりつづける地球上でめぐりゆく出会いと、ちいさな光に照らされた人生のよるこびを描いた短篇集。



『きりきり舞いのさようなら』

諸田 玲子 / 著

お江戸の大火で命からがら焼き出され、無一文のすっからかん。人気戯作者十返舎一九一家。尽きない騒動に娘の舞の苦難は今日も続く…。



『愚かな薔薇』

恩田 陸 / 著

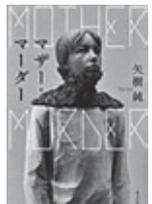
母方の故郷で行われる長期キャンプに参加することになった奈智。それは、「虚ろ舟乗り」の適性を見極めるためのもので…。美しくもおぞましい吸血鬼SF。



『マザー・マダー』

矢樹 純 / 著

息子を溺愛し、学校や近隣でトラブルを繰り返す母親。家から一步も出ず、姿を見せない息子。“最愛の息子”は本当に存在しているのか。企みと驚きに満ちた傑作ミステリ。



新着DVD



邦画「糸」

「騙し絵の牙」

「仮面ライダーセイバー

仮面ライダーゼロワン」

アニメ「天気の子」

「ワンピース スタンピード」

「2分の1の魔法」

「アナと雪の女王2」

館内で視聴できます



今月のBEST本 (12月の貸出回数上位本)

『認知症の人は何を考えているのか?』

渡辺哲弘 / 著

トイレで食器を洗う、お風呂に入らない、うろろう歩きまわる…。不可解な言動に隠された「その人の思い」とは? 認知症の進行をゆるやかにする、認知症の人との「適切な関わり方」をマンガを交えて紹介。

